

**実地研修会「東日本大震災の復興の現状
～復興に向けた現在の取り組み～」を開催**

実地研修会「東日本大震災の復興の現状」が、令和元年7月25日（木）～26日（金）の日程で、全国から45名の参加を得て岩手県大船渡市で開催されました。

初日は、翌日の現地視察の事前学習として、岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター副所長の馬場聡氏、陸前高田市地域振興部観光交流課課長補佐の村上聡氏他2名の講演を行いました。

2日目の現地視察は、天候に恵まれた中、「大船渡港海岸防潮堤整備事業」、「陸前高田市被災市街地復興土地区画整理事業」、「新・道の駅「高田松原」整備事業」、「高田松原津波復興祈念公園整備事業」、「三陸沿岸道路気仙沼道路「(仮称)気仙沼横断橋」建設事業」の各現地を視察しました。

なお、初日の講習後に、受講者や講師など総勢26名が参加し、交流会が行われました。



岩手県沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター副所長 馬場 聡 氏の講演



「大船渡港海岸防潮堤整備事業」の視察の様子

**実地研修会「立山カルデラ～
砂防施設の機能と保全～」を開催**

実地研修会「立山カルデラ」が、令和元年8月1日（木）～2日（金）の日程で、全国から36名の参加を得て富山県立山町他で開催されました。

初日は、富山市内において翌日の現地視察の事前学習のため、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所の野呂智之所長を講師に迎え、「立山カルデラ」の事業概要を講演していただきました。安政5年の大地震で、大鷲山、小鷲山の大崩壊により天然ダムが形成され、その決壊が大土石流となって富山平野を襲ったという歴史から、明治時代より進められてきた砂防事業等を丁寧に説明いただきました。

2日目の現地視察は、2班に分かれた参加者は、まずは、立山カルデラ砂防博物館を見学し、立山カルデラの全体像を把握したうえで現場に向かいました。日本一の高さ63mを誇り重要文化財に指定されている「白岩砂防堰堤」や500万㎡という日本最大級の貯砂量を誇る「本宮砂防堰堤」などを視察しました。また、「立山砂防工事専用軌道（トロッコ列車）」に乗車し、立山・神通砂防スペシャルエンジニアの方の説明を聞きながら沿線の堰堤を視察しました。

なお、ここでも初日の講習後に、受講者や講師など総勢23名が参加し、交流会が行われました。



立山砂防事務所 所長
野呂 智之 氏の講演



「白岩堰堤」視察の様子

**公共工事事品質確保技術者資格試験の
論文審査や面接試験の実施要領などを審議**
—公共工事事品質確保技術者資格認定委員会—

令和元年8月6日（火）協会会議室において、木下誠也委員長（日本大学危機管理学部危機管理学科教授）はじめ委員8名と、オブザーバーの国土交通省大臣官房技術調査課から1名の皆様の出席のもと、第2回公共工事事品質確保技術者資格認定委員会が開催されました。

今回の委員会では、4月の第1回委員会で決定された論文テーマに対するの審査や面接の評価ポイントなどの試験実施要領、また試験委員の編成等が審議されました。

審議では、事務局案の実施要領の一部を修正し、承認されました。

第259回研修委員会が開催されました

—研修委員会—

令和元年8月8日（木）協会会議室において、岡村次郎委員長（国土交通省大臣官房技術調査課長）はじめ委員9名の出席のもと、令和元年度に開催する各研修会の実施計画などを審議いただくため、研修委員会が開催されました。

委員会では、下記の事項が審議され、了承されました。

実地研修会では、新たに「東京2020オリンピック・パラリンピックに係るインフラ整備」を12月に東京都で実施することになりました。

○令和元年度建設議技術講習会・実地研修会の実施について

*第657回建設議技術講習会 於：福島県福島市
「災害に強い安全な国土づくり」

*第658回建設議技術講習会 於：新潟県新潟市
「都市行政の課題・河川行政の課題」

*第659回建設議技術講習会 於：愛知県名古屋市
「Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用」

*実地研修会 於：東京都渋谷区
「東京2020オリンピック・パラリンピックに係るインフラ整備
～競技施設や関連施設の整備について～」

○令和2年度研修計画（案）について

※開催テーマ、開催時期、開催地など

—主な意見

- ・現場見学は必要なことだと思うが、将来的には現地の会場だけでなく、ライブ中継により会議室で講義を受けることができるようにするという方法もあるのではないかと。
- ・今年度の講習会終了後に、今年度の研修はどのような傾向であったのか、どのような点が良かったのかなどを分析して、改善につなげるように検討していきたい。

**令和元年度公共工事事品質確保技術者
資格更新講習始まる**

公共工事事品質確保技術者資格試験に合格し資格登録した資格保有者は、3年毎に更新講習を受講して資格登録更新手続きをする必要があります。

この資格登録を更新するための令和元年度更新講習が、9月10日の東京都を皮切りに始まります。最終となる11月8日の大阪市、福岡市まで、東京都を含めて全国10都市で開催されます。更新講習を申し込まれている皆様は、受講場所と日時をご確認のうえ、講習にお越しくください。

講習会実施都市と日程

札幌市 令和元年10月4日(金)	仙台市 令和元年10月18日(金)	東京都 令和元年9月10日(火)
新潟市 令和元年10月25日(金)	名古屋市 令和元年10月11日(金)	大阪市 令和元年11月8日(金)
広島市 令和元年10月18日(金)	高松市 令和元年11月1日(金)	福岡市 令和元年11月8日(金)
浦添市 令和元年10月25日(金)		

【問い合わせ先】

事業課 下野 高野 古川
 TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640
 E-mail：hinkaku@zenken.com

「令和2年 2020全建手帳」
 掲載内容を充実し、販売受付中！

「令和2年 2020全建手帳」を発行します。やわらかな作りで手に馴染みやすく、使い易いと好評をいただいています。令和2年版は、建設技術者にとって必要な「インフラ情報を満載！」建設技術関係の月間や記念日、高速道路等の開通日、大きな災害の発生日、イベント予定日などの掲載をさらに充実させました。

9月上旬から発送する予定です。
 主な特徴は、次のようなものです。

- ・ A6版サイズで、記入スペースが広く使いやすい大きさです。
- ・ 便利なペン差し付き大型ポケットを備えています。
- ・ 資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- ・ カレンダーの収録期間が2019年11月1日から2021年3月31日までと長く、新しい手帳の移行に便利です。
- ・ 定価700円（税込） 9月までのご注文
 713円（税込） 10月からのご注文

【問い合わせ先】

企画課 露木 竹村
 TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640
 E-mail：kikaku@zenken.com

Dr.クマの“健康のヒント”

天気痛



私はテレビの健康番組を真剣にみない。思い込みだけのものや、動物実験レベルのものなどが、人で効果が証明されたかのように伝えられがちだからだ。しかし、見ておかないと患者さんの質問に答えられないので、パソコン作業をしながら時折テレビを眺める程度のことはしている。そんな中で、これは、というものがあつた。天候によって症状が引き起こされる「天気痛」という概念だ。天候が変化したときに患者さんの訴えが強くなることは、多くの臨床医が経験しているが、その原因がどこにあり、どのように対処すればよいかはわかっていなかった。佐藤純博士らの研究により、天気痛には気圧の変化を感知する内耳の働きが関連していることがわかって

きた。普通の生活をしている限り、気圧の変化を避けるわけにはいかないため、博士らは、患者さん自身に自分の痛みの特徴を知り、必要に応じて薬の服用や、日常的なストレッチを行うことなどをすすめている。天気痛は独立した病気ではなく、ひとつの症状の表現ととらえている医師の方が多だろう。しかし、痛みは我慢する必要はない。その一方でやたらと痛み止めを飲み過ぎるのもよくない。科学的根拠に基づき、自分の痛みをよく知って痛みとつきあっていくというアプローチは合理的だ（利益相反の開示：佐藤博士はたまたま私の高校時代の悪友ですが、利害関係は有しておりません）。

（北里大学医学部 教授 熊谷 雄治）